

# 若年者へのキャリア教育の充実について

【担当省庁】厚生労働省

小中学生などのものづくりに対する関心と意欲を高め、若年者へのキャリア教育を充実させるため、以下の対策を講じていただきたい。

## 〔「若年技能者人材育成支援等事業」の充実〕

- ものづくりの魅力、技能者の持つ技能を伝えるための事業が令和4年度に休止されたが、大規模集客型のイベントは、小中学生のものづくりに対する関心と意欲を高めるために有効な事業であり、早急に再開させること。
- 「目指せマイスター」プロジェクトが令和4年度に休止されたが、小中学校等の児童・生徒を対象としたものづくり体験事業は、ものづくりの魅力発信や若年者へのキャリア教育として有効な事業であり、早急に再開させること。

## 【現状・課題等】

- 若者のものづくり離れ、技能離れが見られる中、若者が自発的に技能者を目指す環境を整備する必要があり、技能者になりたい者の確保、若者への段階的な技能の付与による技能者育成を図るため、厚生労働省が平成25年度から「若年技能者人材育成支援等事業」を実施
- 「若年技能者人材育成支援等事業」については、京都府職業能力開発協会が受託し、「京都ものづくりフェア」や小中学校等での「ものづくり体験教室」を実施してきたが、令和4年度の国委託仕様書において上記事業が「休止」となり、委託対象外となっている。

<p>京都府 の担当課</p>	<p>商工労働観光部 人材育成課(075-414-5102)</p>
---------------------	------------------------------------

**【国の事業等】**

■概算要求〔厚生労働省〕

- ▶ 若年技能者人材育成支援等事業 22億円（令和4年度予算20億円）  
技能尊重気運の醸成や若年技能者の人材確保・育成を支援

**【京都府の取組】**

■京都ものづくりフェア（令和4年度予算3,600千円）

- ▶ 展示場において完全予約・完全入替制でものづくり体験を実施するリアルパートと、webを活用した実演動画等の配信やZOOMによるものづくり体験等を実施するwebパートでのハイブリット方式で実施
- ▶ 国委託事業費は、主に会場費やものづくり体験の材料費等に、京都府から「ものづくりフェア」実行委員会への負担金は、主に会場設営費や委託料等に充当
- ▶ 今回の事業休止に伴い、小中学生のものづくりへの関心を高める機会が喪失し、若年者の技能離れやものづくりへの関心低下につながる恐れがある。

○令和3年度実績

- ・リアルパート：来場者数336人
- ・webパート：約15,000ページビュー

※令和元年度実績 来場者数31,000人（2日間、パルスプラザ大展示場等）

■ものづくり体験教室（令和4年度予算900千円）

- ▶ 小中学校などにもものづくりマイスターを派遣して、実際に和菓子作りや篆刻印鑑作り等を体験してもらうことでものづくりの魅力を発信
- ▶ 国委託事業費は主に上記体験教室に、京都府から魁の会の事業に対する補助金は、主に商業施設へ職人を派遣して実施する体験教室に充当
- ▶ 今回の事業休止に伴い、学校という教育の場で効率的・効果的にものづくりの魅力を発信する機会を失うことで、若年者のキャリア教育や将来技能者になろうとする者の確保に支障をきたす恐れがある。

○令和3年度実績

延36校、1,843人／日